



出展案内書

ワイヤレス・テクノロジー・パーク (WTP) 2017 新時代の価値を創造する ~5G+IoTの挑戦~

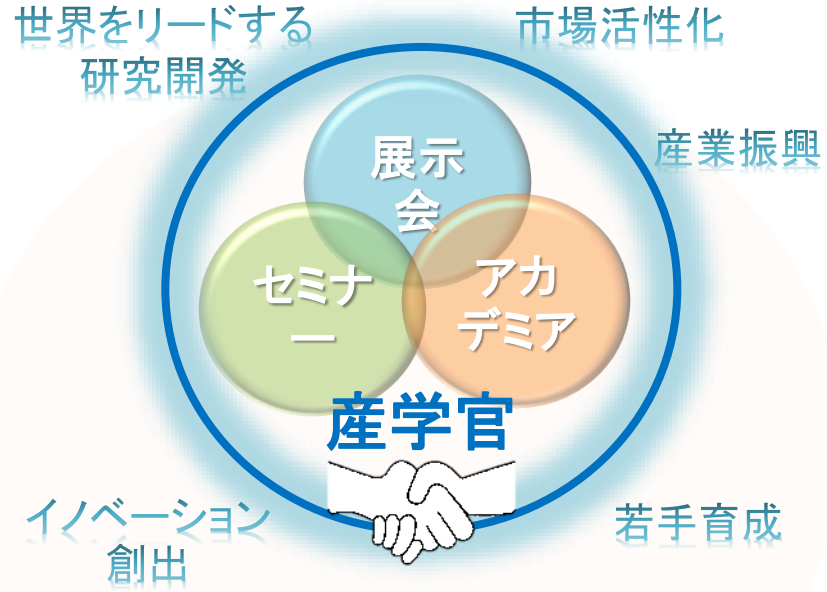
- 
- 会期 2017年5月24日 (水) ~26日 (金) 10:00~18:00 最終日は17:00まで
 - 会場 東京ビッグサイト 西ホール1、会議棟
 - 来場者数 50,000名 ※同時開催展含む目標
 - 出展社数 300社 ※同時開催展含む目標
 - 同時開催展
ワイヤレスジャパン2017、運輸・交通システムEXPO2017
IDE TOKYO ドローンソリューション&技術展2017
 - 主催 国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)、YRP研究開発推進協会、YRPアカデミア交流ネットワーク
 - 運営 日本イージェイケイ株式会社
 - WEBサイト <http://www.wt-park.com>

WTP ワイヤレス・テクノロジー・パーク (WTP) のご紹介

WTPとは?

～10年先、20年先を見据えたワイヤレス技術が集結!～

WTPは、無線通信技術の研究開発に焦点を当てた「展示会」「セミナー」「アカデミアセッション」で構成される、国内最大級のワイヤレス専門イベントです。WTPは、民間企業、教育・研究機関、及び政府・地方公共団体といった産学官連携のもと、企画・開催しております。

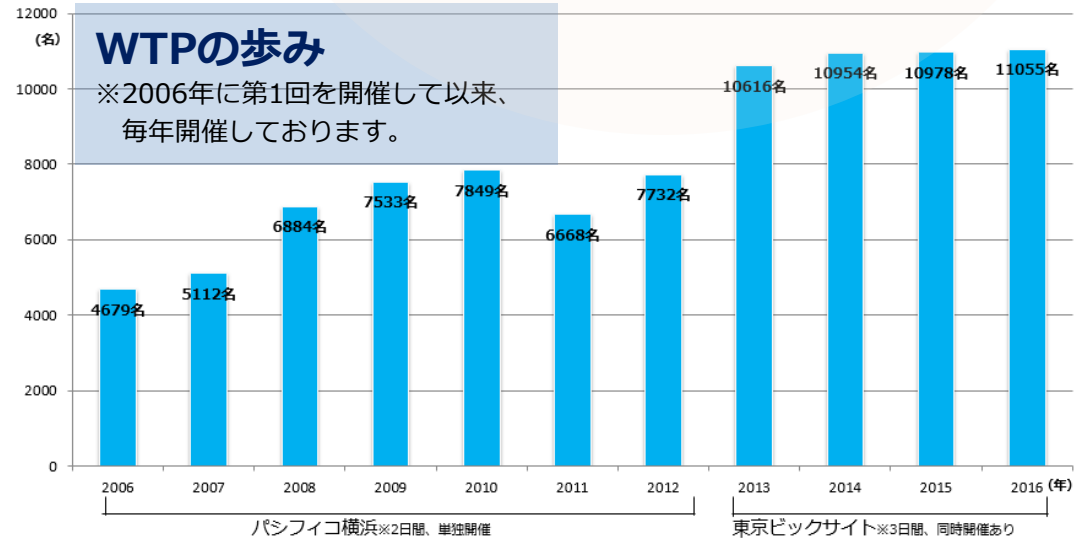


ミッション

- 無線通信技術分野における最新の研究開発成果や動向の紹介
- 国際的な産学官の交流を通じた無線通信技術のビジネス展開の加速、及び世界をリードする研究開発の推進

WTP2017 企画展示・セミナー (案)

- 第5世代移動通信システム (5G)
- Internet of Things (IoT)
- 測位・ロケーション技術
- ITS、コネクテッドカー
- 洋上・海中通信技術
- ドローン・ロボット通信
- 工場向け無線技術・システム
- テラヘルツ波センシング・テラヘルツ波通信



毎年、出展社と来場者の間で、多くの商談が生まれています。

- 新規顧客開拓に
- 既存顧客フォローに
- 開発ニーズのヒアリングに
- 新製品発表に
- 既存製品の新たな切り口での販促に、是非ご出展をご検討ください！

メリット①

ワイヤレス・ネットワークの専門展だから具体的な課題や要望をもつ、専門性の高い来場者と具体的な商談が可能です！

■ 通信・放送業界関係者10,000名以上、各種製造メーカー15,000名以上
が無線サービスを求めて来場！！

■ 来場者の50%以上が『研究開発』、『設計、エンジニア』、『商品企画』に従事

※同時開催展含む(来場者属性データより)



メリット②

無線に関連した専門性の高いセミナーをテーマに沿って毎日開催し、目的意識の高いユーザーを多数誘致します！

■ 聴講者数：約9,000名※同時開催展含む(2016年実績)



メリット③

ターゲットとなる顧客層へ効率よく貴社製品やサービスの訴求を行えます！

『数千名のターゲット層に対し、展示やセミナーを通して一度にアプローチが可能！』

『Webや紙媒体ではなかなか伝わらない製品やサービスの特徴を、
実機を見せながら直接訴求可能！』

■ 最大名刺交換数：1,500枚以上！ 出展社満足度60%以上！

来場者の商品導入に関わる割合80%以上！ ※出展社アンケートデータより



第5世代移動通信システム (5G) /5G Tokyo Bay Summit Pavilion

2020年の実用化に向けて開発が進む第5世代移動通信システム(5G)について、今後、移動通信トラフィックは現在の数百倍に増大すると予測されており、この増大するトラフィックに対応するための低コスト、低消費電力を備えた新たなネットワークシステムの開発と実用化が求められています。2017年からは本格的な実証実験も始まろうとしており、5Gへの注目は更に高まっています。

無線通信技術の専門展であるWTPでは、5Gの最新の研究成果や多様なアプリケーションを、通信事業者や各種メーカー、社会インフラ関連業界など幅広いターゲット層に向けて、展示とセミナーの両方からPRすることが可能です。

同時開催イベント

5G Tokyo Bay Summit

最新の通信技術である第5世代移動通信システム (5G) を『5G Tokyo Bay Summit 2017』として、NTTドコモの運営協力のもと、WTP2017内で特設パビリオンとして開催致します。国内外の通信事業者、通信メーカー、各種製造業社などに、次世代の移動通信システムである5Gに関する最新の研究成果や利活用の可能性を展示とセミナーで訴求して頂きます。国内最大の5Gに関する専門イベントに是非ご出展をご検討ください。

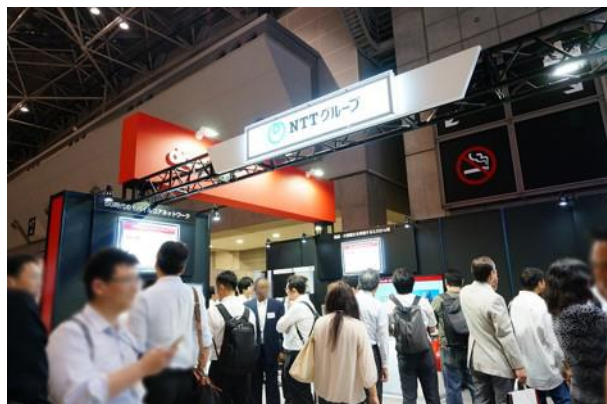
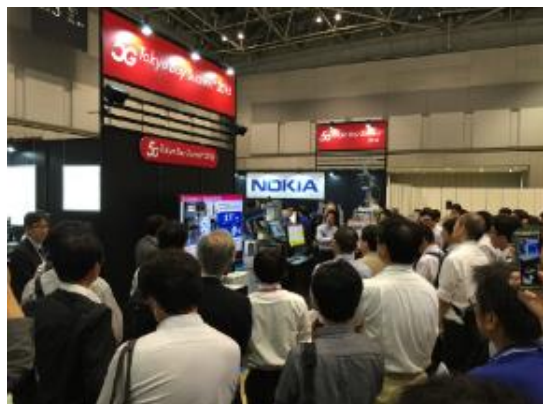
運営協力：株式会社NTTドコモ

[前回の5G展示企業]

インテル、NTTドコモ、エリクソン・ジャパン、キーサイト・テクノロジー、クアルコムジャパン、KDDI研究所、コーンズテクノロジー、コムクラフト、サムスン電子、電気興業、東陽テクニカ、日本電気、日本電信電話、日本ナショナルインスツルメンツ、日本無線、ノキアソリューションズ&ネットワークス、パナソニック、華為技術日本、富士通、三菱電機、メディアテック、ローデ・シュワルツ・ジャパン

[前回の5G講演企業・団体]

Intel Corporation、NTTドコモ、NTT未来ねっと研究所、FCC、エリクソン、Orange Labs Tokyo、KT Corporation、KDDI、QUALCOMM Technologies, Inc.、Samsung Electronics Co., Ltd.、Secure-IC、総務省、第5世代モバイル推進フォーラム (5GMF)、日本電気、日本電信電話、ノキア、華為技術、富士通、Verizon Communications Inc.



その他トレンドに則した企画を検討しております。またティアアップ企画のご依頼もお受けしております。

ロケーションサービス～QZSS、屋内測位、位置情報利用～

位置情報を活用したサービスは、ショッピングセンターや、病院などの施設、工場内などの様々なシーンで実証実験が開始されており、位置情報を活用した新たなアプリケーションやサービスが産み出されています。衛星測位に関しては、携帯電話やカーナビなど既に実生活で使用されており、更なる精度等の向上のために準天頂衛星システムの2～4号機衛星が打ち上げられようとしています。

それに伴う機器やサービスの開発も期待され、測位技術への関心は更に高まってきています。

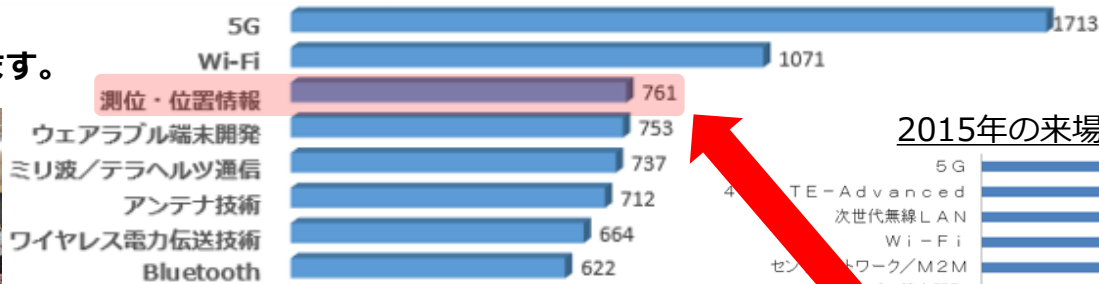
[前回の測位展示企業、団体]

アイサンテクノロジー、衛星測位利用推進センター、ジェナ、準天頂衛星システムサービス、測位衛星技術、測位航法学会、東京海洋大学、名古屋大学/Lisra、日本ジー・アイ・ティー、福井大学、マルティスーブ、ユビセンス、リコー、立命館大学

[前回の測位講演企業、団体]

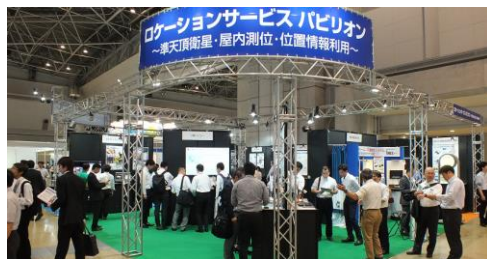
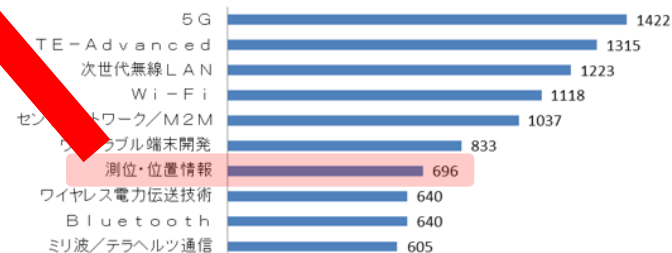
衛星測位利用推進センター、東京海洋大学、東京大学、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、名古屋大学、日本ジー・アイ・ティー、福井大学、富士ロジテック、マルティスーブ、立命館大学

「測位・位置情報」への、
来場者の関心が高まっています。



2016年の来場者が関心を持つテーマ

2015年の来場者が関心を持つテーマ

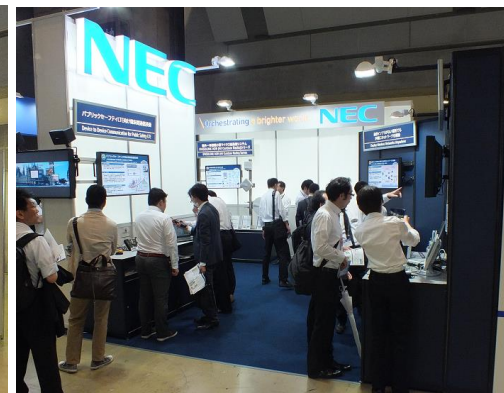
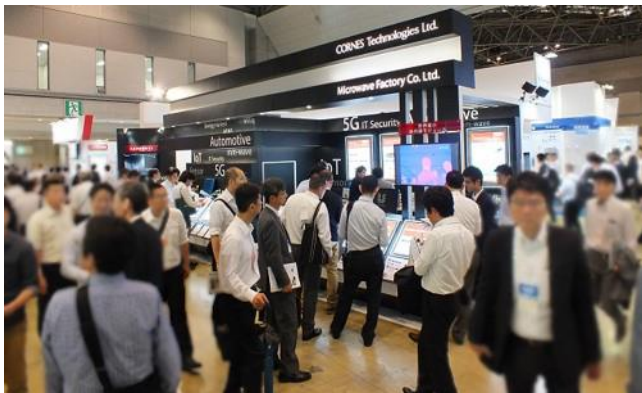


その他トレンドに則した企画を検討しております。またタイアップ企画のご依頼もお受けしております。

WTP 2017 企画展示・セミナー(予定)

IoT

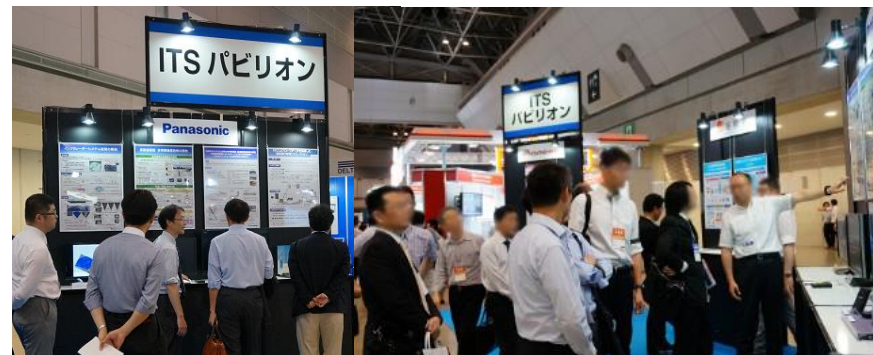
『IoT』(Internet of Things)はモノのインターネットと呼ばれ、通信とセンサー技術を駆使することで、様々なモノ、機械、人間の行動などの大量の情報を収集し、ビッグデータとして二次活用に用いていくことが可能です。『IoT』の根幹となる技術である無線技術の専門展である『WTP』に出展いただくことで、『IoT』を活用した新たなサービスやビジネスを探す、各業界のユーザーや製造業社、Sierなどへ、展示とセミナーからPRしていただくことが可能です。



ITS(コネクティッドカー、自動安全走行)

2020年オリンピック、パラリンピックでの無人自動走行や、高速道路での自動運転を実現するため、2017年の実証実験に向けた社会インフラや、制度の準備が活発化してきています。

本展では準自動走行システムの骨組みが整う2017年の『WTP』にご出展いただくことにより、自動運転に関わるセンシングデータや伝送など、最新の無線システムの紹介や、完全自動走行化に向けた研究成果や展望などを、自動車業界に関わる各種メーカー、製造業、道路管理会社などへ展示とセミナーを通してPRすることが可能です。



その他トレンドに則した企画を検討しております。またタイアップ企画のご依頼もお受けしております。

WTP 出展サポートプラン

運営事務局では出展頂く皆様に成果を出して頂くために、各種サポートプランを準備させて頂いております。

会期前

DM・招待券の無償提供

事務局から貴社名を掲載したDM(招待券)を必要枚数をご提供させていただきます。
既存顧客、及び営業先リストへ配布いただくことで、展示会を有効なクロージングの場としてご利用いただけます。
また本DM及び招待券は来場対象者約70,000件に対して事務局より送付しております。



展示会招待券在中

ターゲティングメールの送信による会期前告知（会期後も可能です）

事務局で保有する来場者データ約70,000件の中から、業種、カテゴリーなどを絞ったメール配信を行うことが可能です。貴社で行うセミナーの情報や展示製品の情報などの事前告知にお使いください。
※料金はP18の料金表をご参照ください



会期中

誘導看板やWebバナーによる会場内でのブース誘致

公式HPでの貴社バナーの掲載や、会場内の受付看板や誘導看板、ガイドマップなど、来場者の目に留まる場所に貴社広告を掲載することが可能です。
ターゲットとなる来場者との商談率のUPにご使用ください。
※詳細はお問い合わせください。



興味の高い来場者を集めた出展社プレゼンテーションの開催

会場内、及び会場外の特設会場にて、事前登録制のセミナー枠をご準備させていただきます。
貴社のセミナーテーマに興味をもった来場者を一堂に集めることで、効率的にPRを行っていただけます。
※料金はP18の料金表をご参照ください

バーコードシステムによる会期中営業の効率化

ブースに来た来場者の名刺情報や、業種、関心のあるテーマ、決裁権の有無など情報を、バーコードを読み取るだけで効率的に収集することが可能です。
※料金はP18の料金表をご参照ください



会期後

バーチャル展示会による会期後営業効果の最大化

Web上に貴社の展示製品情報やセミナーの紹介テキスト、画像、動画を掲載することが可能です。
また貴社情報をみた方のログはダウンロードが可能のため、実際にご来場いただいた方以外にも、事前登録をしたが会場に来れなかった来場者を含め、効果的に後追いを行っていただくこともできます。
※詳細はお問い合わせください。



◆充実したセミナーで来場者を惹きつけます！



最新のワイヤレストピックスをテーマにしたセミナーを開催します。
展示とセミナーを連動させ、目的を持った来場者の誘致を図ります。

2016年のセミナー受講者数：目的意識の高い約9,000人※を動員

※同時開催展含む



◆メール配信やDMによる告知活動！



展示会過去来場者を中心とした70,000件を超えるデータベースを活用した主催者からのメール配信、DM発送。

また、後援団体や業界団体から会員各社への告知も積極的に行います。

出展社には、希望枚数分のDMを無料提供。顧客に送付してブース来訪を促してください。

◆業界専門誌、メディアパートナーとの広報活動！



業界メディアとタイアップし、開催告知等のプロモーション活動を実施します。

また、マスコミ各社へのプレスリリース発信により来場誘致をすすめます。

antenna / biglobe / business network.jp / Buzzap ! / cloud news japan / CNET Japan / E..I.S / EE Times Japan / EVENT MARKETING / exite / Game Deets / goo / I n f o s e e k 楽天 / INTERNET Watch / IPROS製造業 / ITmedia mobile / livedoor / NEWS PICKS / nikkei Bpnet / RBB TODAY / Response / SAFETY JAPAN / SankeiBI / SANSPO.OM / Scan Net Security / S-MAX / T-SITE / WirelessWire News / YAHOO!JAPAN / zakzak / 朝日新聞デジタル / ケータイWatch / ケータイなう / 建設 I Tジャーナリスト / テレケーブル / 展示会とMICE / 電波タイムズ / 東京IT新聞 / 東洋経済日報 / 日刊工業新聞 / 日経M J / 日経産業新聞 / 日経テクノロジーonline / 日本経済新聞 / ニュースモーニングサテライト / ハッカードール / ヒューマンキャピタルOnline / 物流ニッポン / 聞きにくい事を聞く etc

200を超えるTV、紙媒体、WEBの各メディアにて、会期前～会期後にかけて出展・講演の情報が報道されました！※2016年実績

◆出展製品情報をWEBとDMに掲載！



出展社情報、製品情報を無料掲載します。また事務局からの来場誘致メールでも出展社情報を配信してブースへの来場者誘導を計ります。



展示会

出展社数: 計112社・団体 (前年実績: 115社・団体)



総来場者数: 47,108名

※同時開催展を含む

【内訳】	天気	2016年	2015年
5月25日(水)	晴れ	14,603名 ↑	12,770名
5月26日(木)	晴れ	13,077名	13,440名
5月27日(金)	雨のち曇り	19,428名 ↑	18,291名
合計		47,108名 ↑	44,501名

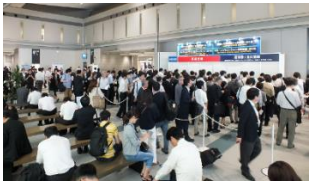
WTP2016の来場者数: 11,055名

※同時開催展からの流入を除く

【内訳】	2016年	2015年
5月25日(水)	3,233名 ↑	2,926名
5月26日(木)	2,906名	3,448名
5月27日(金)	4,916名 ↑	4,604名
合計	11,055名 ↑	10,978名

2,607名(5%)増加

77名(0.7%)増加



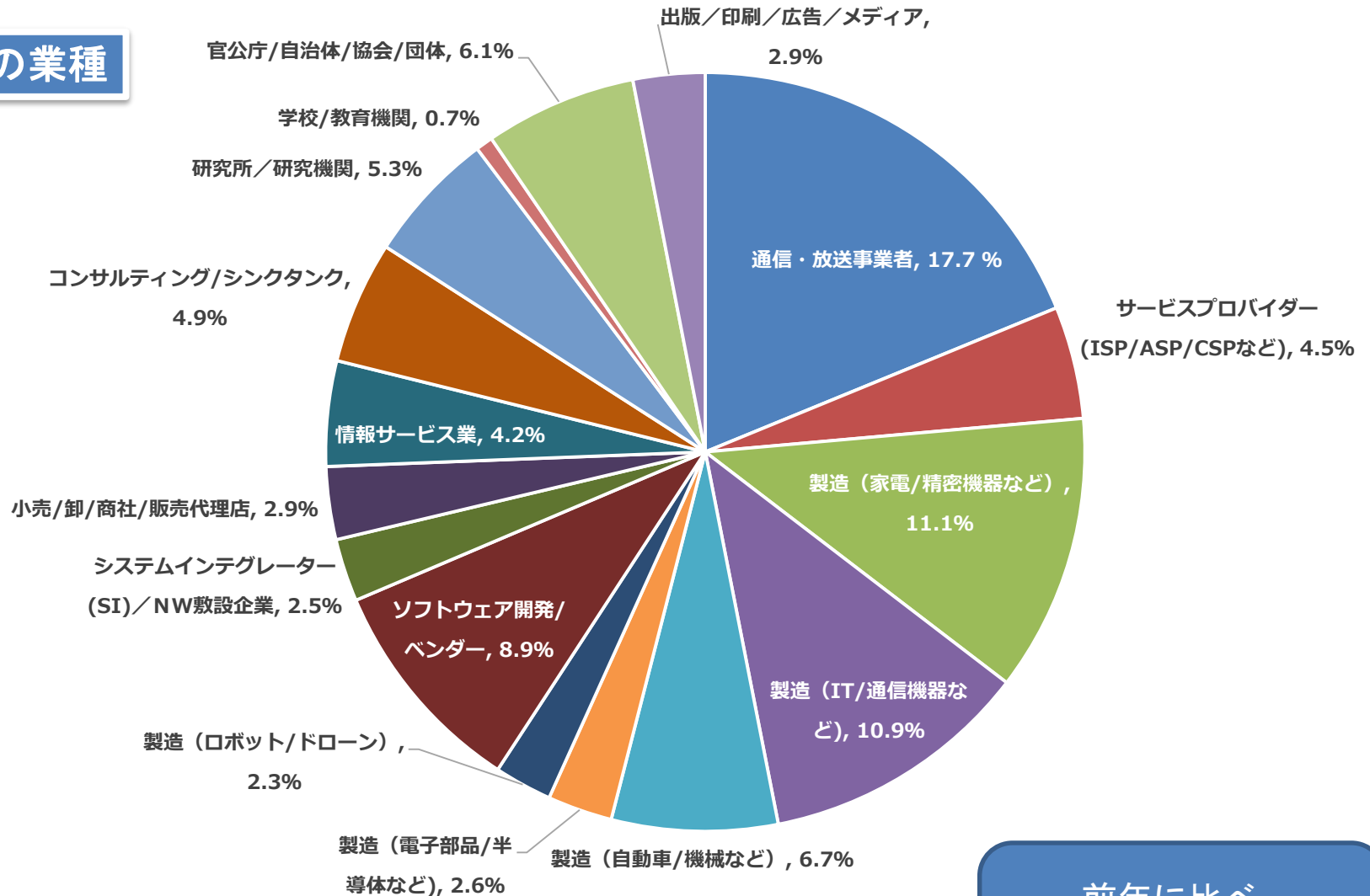
セミナー

講演件数: 計107件 (前年実績: 112件)
 延べ聴講者数: 6,474名 (前年実績: 5,566件)

アカデミア(大学発表)

口頭発表件数: 計17件 (内招待講演2件)
 ポスターセッション参加校数: 計12校

来場者の業種

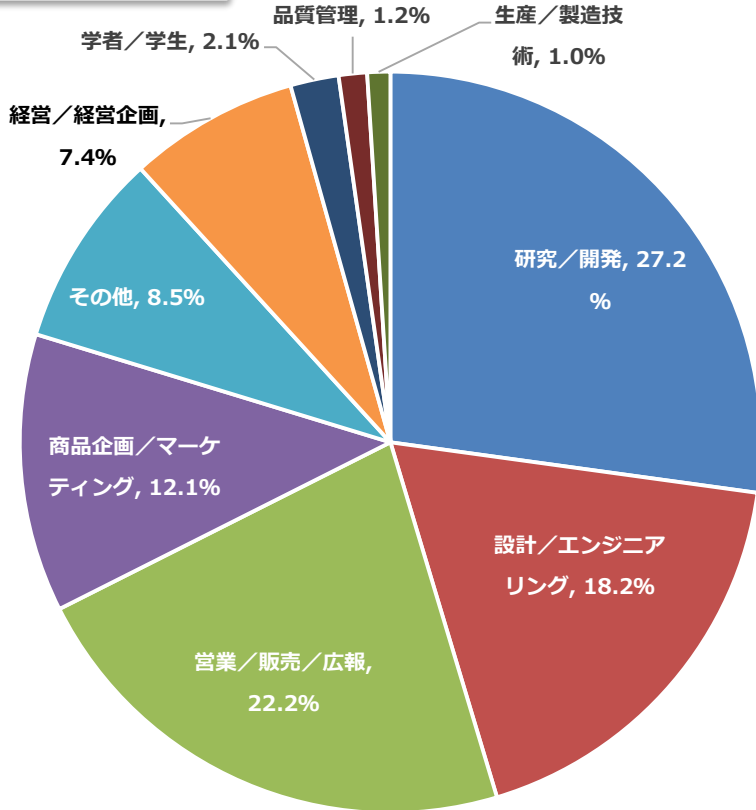


2015年年実績

通信・放送事業者・・・8.4%	サービスプロバイダー (ISP/ASP/CSPなど)・・・1.0%
製造 (IT/通信機器など)・・・20.7%	製造 (電子部品/半導体など)・・・8.7%
製造 (家電/精密機器など)・・・8.5%	製造 (自動車/機械など)・・・4.7%
ソフトウェア開発/ベンダー・・・6.5%	システムインテグレーター (SI)/NW敷設企業・・・5.5%
小売/卸/商社/販売代理店・・・7.8%	情報サービス業・・・2.9%
研究所/研究機関・・・2.6%	学校/教育機関・・・2.3%
出版/印刷/広告/メディア・・・2%	官公庁/自治体/協会/団体・・・3.3%
	その他・・・12%

前年に比べ、
通信・放送事業者が
約10%増加。

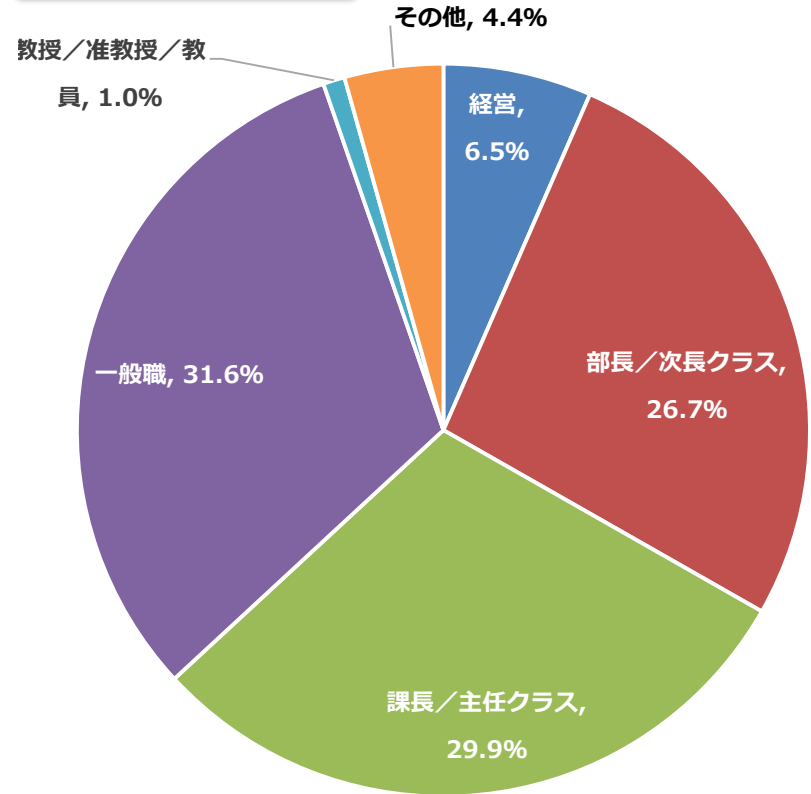
来場者の職種



2015年実績:
 設計/エンジニアリング...19.6%
 研究/開発...22.7%
 商品企画/マーケティング...12.9%
 生産/製造技術...1.5%
 品質管理...1.0%
 経営/経営企画...7.7%
 営業/販売/広報...23.3%
 学者/学生...2.0%
 その他...9.38%

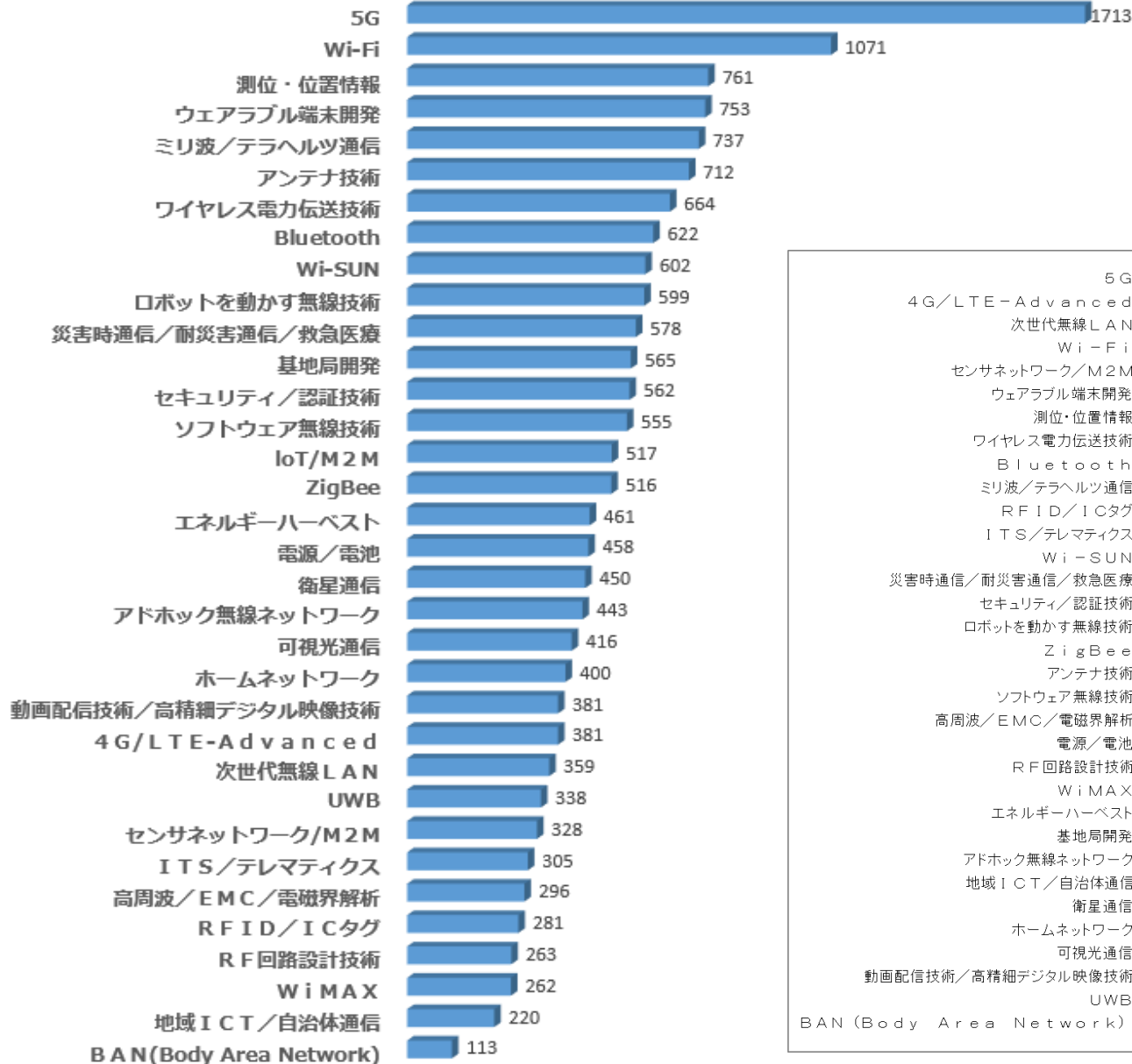
前年に比べ、
 研究/開発、
 設計/エンジニアリングの
 割合が増加。

来場者の役職

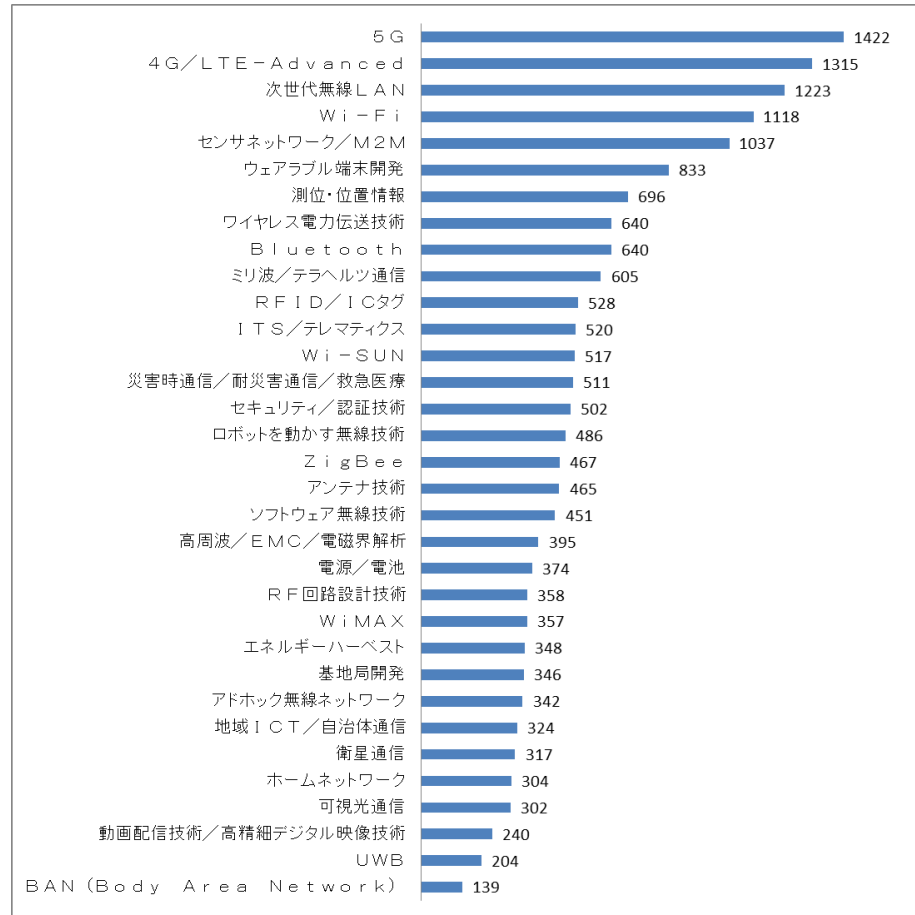


2015年実績:
 経営...7.8%
 部長/次長クラス...20.3%
 課長/主任クラス...34.0%
 一般職...29.5%
 教授/准教授/教員...1.0%
 その他...7.4%

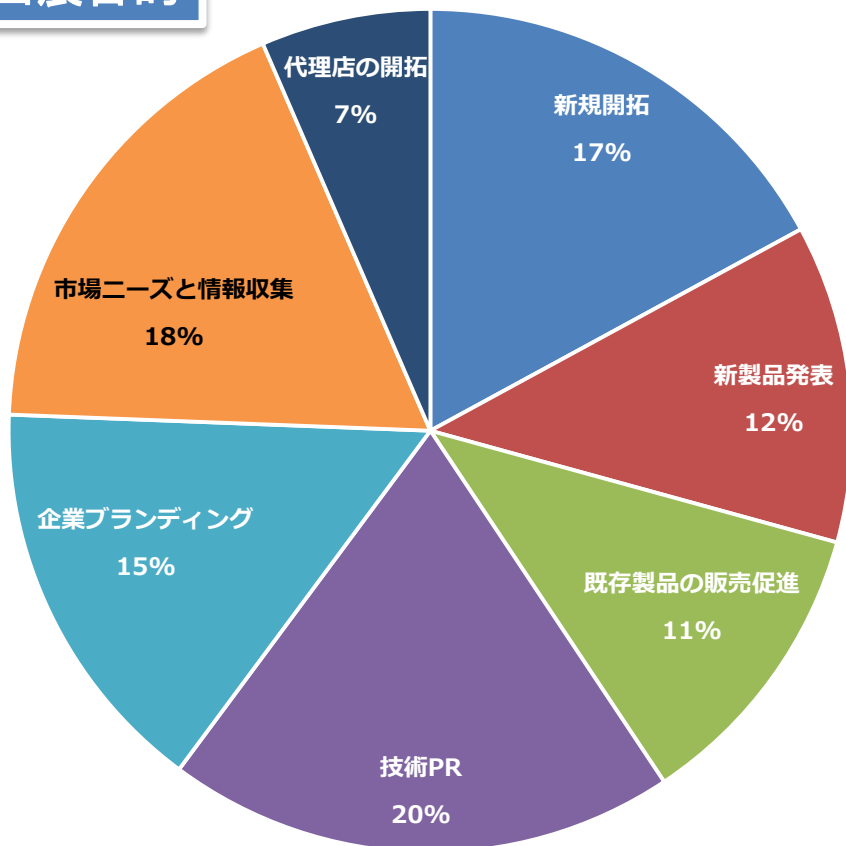
来場者が関心をもつ分野



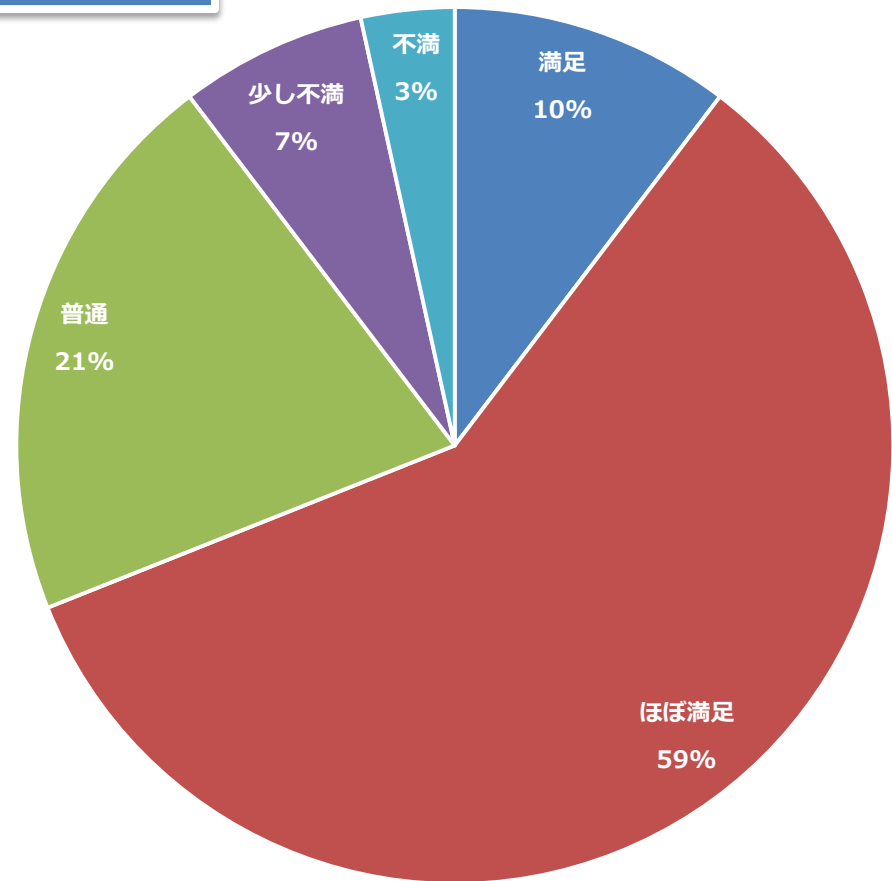
2015年のデータ



出展目的



出展満足度



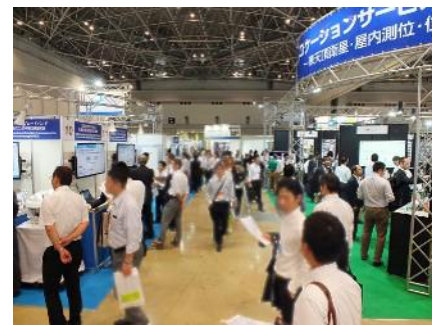
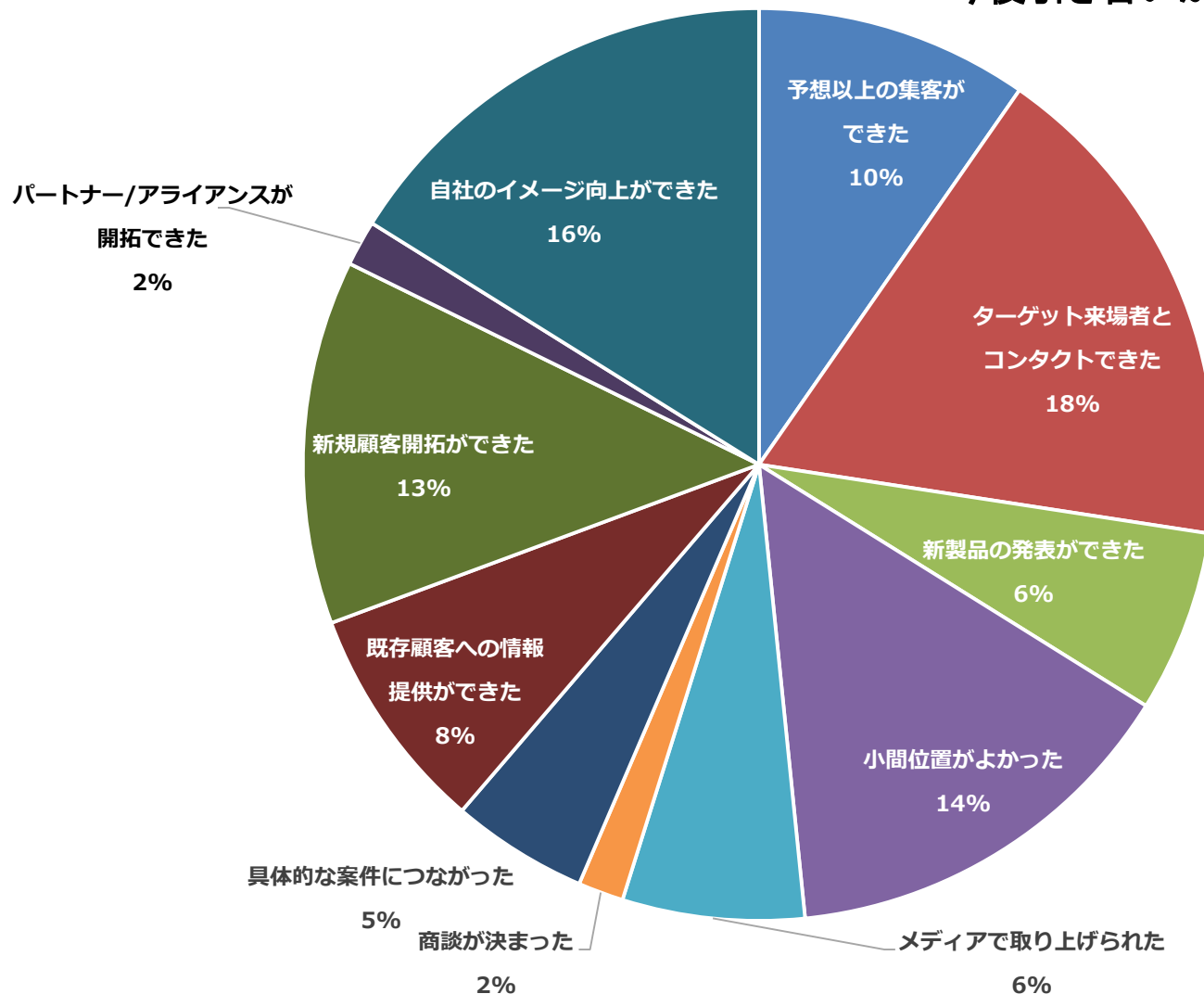
約7割の出展社が
出展に満足と回答。

出展成果

来場者と交換した名刺・・・平均枚数:258枚
 第1位1,502枚、第2位枚1,301枚、第3位1,074枚

今後引き合いが見込める商談件数

・・・平均件数:12.8件



WTP 2016 出展社一覧

アイ・エス・ビー、アイダックス、アムテックス、アルテアエンジニアリング、アンリツ、e・オータマ / Interference Technology 日本版、イクシアコミュニケーションズ、インタープラン、NTTドコモ / 日本電信電話、神奈川県 / イ・エム・テクノ、KDDI研究所、構造計画研究所、光電製作所、コーンズ テクノロジー、小峰無線電機、コムクラフト、Sequans Communications、昌新、情報工房、情報通信技術委員会 (TTC)、情報通信研究機構、タレスジャパン、中央コリドー、テレコムエンジニアリングセンター (TELEC)、電気興業、東京計器アビエーション、東陽テクニカ、日新システムズ、日本電気、日本無線、日立国際電気、ブール・ジャパン、富士通、丸文、三菱電機エンジニアリング、メリテック、モバイルテクノ、リンカーズ、ロジックベイン、YRP-IOT、YRP研究開発推進協会

■ITSパビリオン

総務省、パイオニア、パナソニック

■5G Tokyo Bay Summitパビリオン

NTTドコモ、エリクソン・ジャパン、キーサイト・テクノロジー、Qualcomm、インテル、サムスン電子、日本電気、日本電信電話、日本ナショナルインスツルメンツ、ノキアソリューションズ&ネットワークス、パナソニック、華為技術日本、富士通、三菱電機、メディアテックジャパン、ローデ・シュワルツ・ジャパン

■耐災害ICTパビリオン

構造計画研究所 / 東北大学、情報通信研究機構耐災害ICT研究センター

■地方創生と地域情報化コーナー

総務省、公立はこだて未来大学、徳島県庁、熊本県人吉市役所

■Flexible Factoryパビリオン

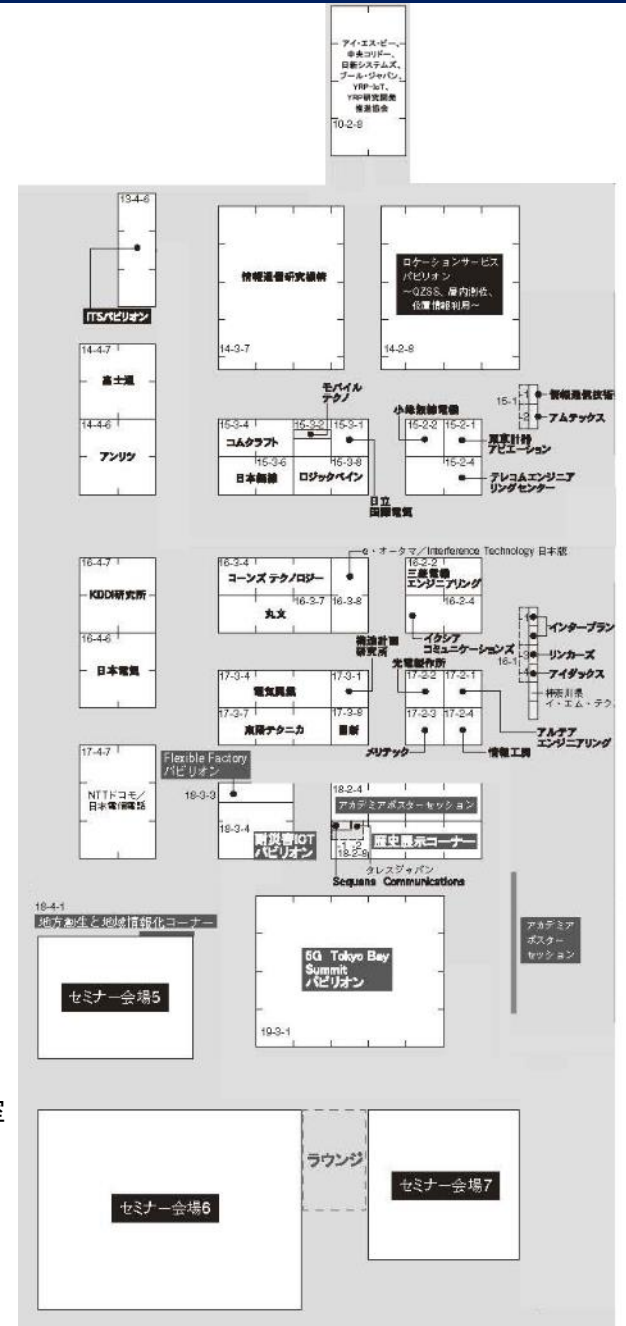
オムロン、サンリツオートメーション、情報通信研究機構、日本電気、富士通関西中部ネットテック

■ロケーションサービスパビリオン～QZSS、屋内測位、位置情報利用～

アイサンテクノロジー、衛星測位利用推進センター、ジェナ、準天頂衛星システムサービス、測位衛星技術、測位航法学会、東京海洋大学、名古屋大学 / Lisra、日本ジー・アイ・ティー、福井大学、マルティスーブ、ユビセンス、リコー、立命館大学

■アカデミア ポスターセッション参加校

愛知工科大学 工学部情報メディア学科宇野研究所、静岡理工科大学 ワイヤレスマルチメディア研究室
 上智大学 理工学部 情報理工学科 林研究室、電気通信大学 AWCC
 東京工芸大学 越地研究室 / 電子情報工学専攻、東京電機大学 宮保研究室 / 情報環境学専攻
 東京理科大学 経営学部経営学科 知能クラウド研究室 (ザニケエフ・マラット) / 情報通信
 東洋大学 ワイヤレス伝送研究室、豊橋技術科学大学 ワイヤレス通信研究室 / 電気電子情報工学
 北海道大学 調和系工学研究室、横浜国立大学 河野研究室、龍谷大学 電子情報学科 植村研究室



WTP 2016 メディア実績

【テレビ】 ニュースモーニングサテライト / テレビ東京 聞きにくい事を聞く / テレビ朝日

【新聞】 テレケーブル / テレケーブル新聞社
日刊工業新聞 / 日刊工業新聞社
日本経済新聞 / 日本経済新聞社

電波タイムズ / 電波タイムズ社
日経MJ / 日本経済新聞社
物流ニッポン / 物流ニッポン新聞社

東洋経済日報 / 東洋経済日報社
日経産業新聞 / 日本経済新聞社

【WEB】 antenna / グライダーアソシエイツ
Buzzap! / Buzzap!
CNET Japan / 朝日インタラクティブ
EVENT MARKETING / MICE研究所
goo / NTTレゾナント
IPROS製造業 / イプロス
NEWS PICKS / ユーザベース
Response / イード
SankeiBiz / 産経デジタル
S-MAX / ケーマックス・ラボ
zakzak / 産経デジタル
ケータイなう / ワードプレス
展示会とMICE / ピーオーピー
ハッカードール / DeNA
WirelessWire News / WirelessWire News編集部

biglobe / ビッグローブ
cloud news japan / cloud news japan
E..I.S / ピーアンドピービューロー
exite / エキサイト
Infoseek 楽天 / 楽天
ITmedia mobile / アイティメディア
nikkei Bpnet / 日経BP社
SAFETY JAPAN / 日経BP社
SANSPO.OM / 産経デジタル
T-SITE / TSUTAYA
朝日新聞デジタル / 朝日新聞社
建設ITジャーナリスト / イエイリ・ラボ
東京IT新聞 / イード
ヒューマンキャピタルOnline / 日経BP社

business network.jp / リックテレコム
EE Times Japan / アイティメディア
Game Deets / ナイル
INTERNET Watch / インプレス
livedoor / LINE
RBB TODAY / イード
SankeiBI / 産経デジタル
Scan Net Security / イード
YAHOO! JAPAN / ヤフー
ケータイWatch / インプレス
日経テクノロジーonline / 日経BP社

※順不同



WTP 2017 開催概要

- 会 期： 2017年5月24日(水)～26日(金) ■会 場： 東京ビッグサイト西ホール1、会議棟
■同時開催： ワイヤレスジャパン2017、運輸・交通システムEXPO2017、IDE TOKYOドローンソリューション&技術展2017
■主 催： 国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)、YRP研究開発推進協会、YRPアカデミア交流ネットワーク

■実行委員会:

- 実行委員長： 齋 昭男 YRP研究開発推進協会 会長
特別顧問： 羽鳥 光俊 東京大学 名誉教授
顧 問： 土居 範久 慶應義塾大学 名誉教授
実行委員： 秋本 丈仁 横須賀市経済部 部長
梅田 成視 日本無線株式会社 研究所 理事
浦辺 和夫 京浜急行電鉄株式会社 取締役 グループ戦略室長
大森 慎吾 一般社団法人YRP国際連携研究所 代表理事 所長
雄川 一彦 富士通株式会社 エグゼクティブフェロー
尾上 誠蔵 株式会社NTTドコモ 取締役常務執行役員 R&Dイノベーション本部長
加藤 数衛 株式会社日立国際電気 映像・通信事業部 技師長
川村 龍太郎 日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所 所長
手島 俊一郎 日本電気株式会社 執行役員常務
平田 哲彦 株式会社日立製作所 IoT・クラウドサービス事業部 本部主管
富田 二三彦 国立研究開発法人情報通信研究機構 理事
中嶋 信生 電気通信大学 産学官連携センター長 特任教授
中島 康之 株式会社KDDI研究所 代表取締役所長
長島 洋 株式会社横須賀テレコムリサーチパーク 代表取締役専務
服部 武 上智大学 理工学部 客員教授
平田 康夫 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 代表取締役社長
藤巻 均 神奈川県 産業労働局長
【五十音順 敬称略】

- 後援団体(予定): 総務省、神奈川県、横須賀市、(一社)電気学会、(一社)電子情報通信学会、(公社)自動車技術会、(公社)土木学会、
(一社)日本建築学会、(一社)測位航法学会、(一社)日本生体医工学会、(一財)テレコムエンジニアリングセンター、
(一財)日本ITU協会、(一社)情報通信技術委員会、(一社)情報通信ネットワーク産業協会、(一社)全国陸上無線協会、
(一社)テレコムサービス協会、(一社)電波産業会、(一社)電気通信事業者協会、(一社)電子情報技術産業協会、
(一社)日本ケーブルテレビ連盟、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、新世代M2Mコンソーシアム、IMESコンソーシアム、
ITS情報通信システム推進会議、(独)日本貿易振興機構、(一財)電波技術協会

- 特別協力(予定): (株)横須賀テレコムリサーチパーク

■アカデミア後援団体(予定):

IEEE VTS Tokyo Chapter、電子情報通信学会 無線通信システム(RCS)研究会、電子情報通信学会 衛星通信(SAT)研究会
電子情報通信学会 モバイルネットワークとアプリケーション(MoNA)研究専門委員会、電子情報通信学会 スマート無線(SR)研究会

- 協賛： 情報通信月間推進協議会 ■運営事務局： 日本イージェイケイ(株)

WTP 2017 出展料金・スケジュール

展示スペース・パッケージブース料金

※「会員」はYRP研究開発推進協会の会員を指します。

オプション1: 展示スペースのみ

非会員	469,800円/小間 (3m x 3m)
会員	427,680円/小間 (3m x 3m)

オプション2: パッケージブース

非会員	577,800円/小間 (3m x 3m)
会員	535,680円/小間 (3m x 3m)

オプション3: トライアルパック (展示台+スペース)

162,000円 (展示台+スペースのパッケージ) 1.5m x 1.5m)
--

角小間をご希望の方へ

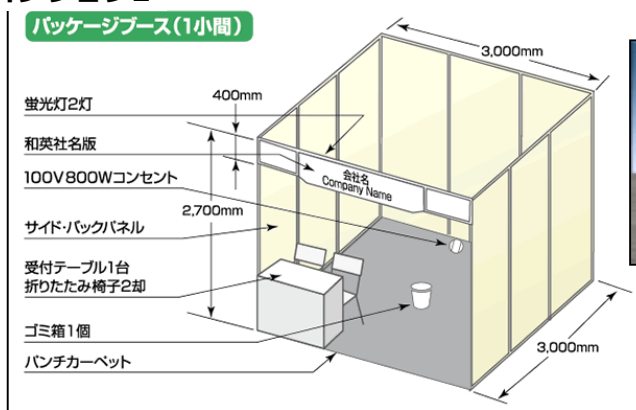
1角につき21,600円(税込)を頂きます。角小間とは、通路に面して、他社ブースと隣接しない角。例) 島小間の場合は4角になります。

追加オプション

- 出展社プレゼンテーション: 216,000円/セッション (20分間) *約200名のセミナー登録者データの提供を含む
- バーコードシステム: 54,000円 *EXCELデータ作成、データ納品までを含めた料金、ご納品までには8営業日程度を予定しております。
- ターゲティングメール: 108,000円/配信 *送信時期は事務局からの案内メール送信時に行わせていただきますのでご相談ください。
- WEBバナー広告: 108,000円 *掲載は事前登録が開始となる2017年3月下旬から6月末までを予定しております。
- 会場内広告各種 *詳細はお問い合わせください。 詳細は、運営事務局までお問い合わせください。

*本ページに記載の料金は全て消費税8%を含んでおります。

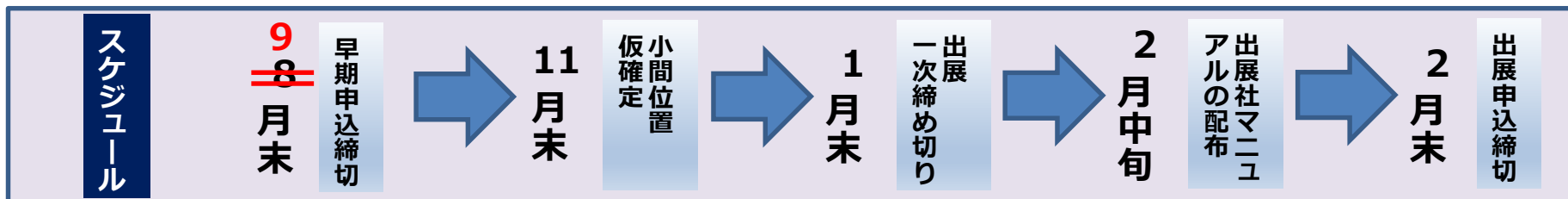
オプション2



オプション3



- ✓ 蛍光灯1灯
- ✓ 和英社名版
- ✓ 100V/500Wコンセント (500W分の電源と電気使用料含む)
- ✓ バックパネル (W1m x H2.7m)
- ✓ 展示台1台 (W1m x H1m x D0.5m)
- ✓ パンチカーペット



ワイヤレス・テクノロジー・パーク(WTP)2017のご案内

9月30日 出展問合せフォーム
【~~8月31日~~までのお申込みで出展料金10%OFF!】

WTP2017開催概要

会期：2017年5月24日（水）～26日（金）

会場：東京ビッグサイト 西1ホール

（同時開催：ワイヤレスジャパン2017、運輸・交通システムEXPO2017、IDE TOKYO ドローンソリューション&技術展2017）

【1】お問合せ内容：

出展したい 出展を検討したい 展示会について詳しい話を聞きたい 同時開催展について知りたい

【2】希望小間数：_____ 小間

【3】ご決定時期：_____ 年 _____ 月頃

【4】その他ご要望など（例）「企画してもらいたいテーマ」、「商談したい来場者層」

御社名：_____

所属/役職：_____

ご担当者名 _____

TEL: _____

E-mail: _____

名刺

WTP2017運営事務局

日本イージェイケイ株式会社(担当:俵)

【お問合せ・お申込み】

〒105-0011東京都港区芝公園1-2-6 ランドマーク芝公園7F

TEL: 03-6459-0444 FAX: 03-6459-0445

E-mail:tech@ejk-japan.co.jp

▼ このままお送りください FAX:03-6459-0445 ▼